

地域創生特別プログラム防災まちづくり系 1 年生教員面談

日 時：平成30年6月1日（金） 13時から14時30分

場 所：基盤耐震工学研究室、理工学部敷地内

地域創生特別プログラム防災・まちづくり系の1年生は、社会基盤環境コースの地域防災研究センター兼務教員と週1回のペースで面談し、各教員がどのようなことを研究しているのかを、雑談も含め説明を受けています。

今回の基盤耐震工学研究室の面談では地盤探査の野外実験を体験しました。一直線に受信器を24個並べて、掛矢で地面を強打して振動（表面波）を発生させ、S波速度の2次元分布を表示して地下構造を可視化しました。S波速度が小さいと地盤は柔らかく、速度が大きいと地盤が固い性質を持っています。理工学部の構内で実験した結果、深さ9mほどに固い地盤があることがわかりました。1年生も元気に掛矢を振り下ろして振動を発生させました。もし家を建てる場合に、事前にこのような調査を行なっていれば対策を立てることも可能です。

（文責：山本英和）



写真 表面波探査の準備と掛矢による起震。